

市の住民登録人口
(39年5月31日現在)

世帯数	15,686世帯
人口	60,499人
男	31,621人
女	28,878人
外人登録人口	1,082人

5月市人口の動き
出生88人 死亡28人
結婚112組 離婚3組

市の面積
67.29平方キロメートル

企企画報載（三・四）メサイク・川原 寺と消防防災室にちぎれ移動 移動を働き、このほか携帯無線機（ヘンドリーター）二台を備え、笠節の一部を除き、全市域無線で結ぶことになす。

この無線機は一般市用として許可が与えられたもので、平常は市業務連絡等に活用することになっているが、とくに雨降や台風時は通信が途絶えて、被災者が活動移動困難、被災地への基地局の状況によつて適切な対応を移動通信機と携帯無線機へ、また移動通信機と携帯無線機の間に無線交信手段がなく、無装設置で同対策がとれない。

去る月十六日午後一時分、報じています。まことに「新潟地震」が発生し、新潟、山形、秋田県に被害を齎したところから報告いたします。

すいずいがあつたといふのは、新潟を救うべくこの國の地とてくは、新市街には上り、宇治市も市坪は、河川逆流、民が衝突して居る所へ、今は火災の恐れがある、臨時家庭怖につつまれ、鉄道から鉄金や料物品通、電氣、水道のものでなくとも肩ろ各個品はすべてなされた。新市街避難寸断する有様で、数えん貸付窓口の市福多量のいたまじ被社事務所へ歸ひ参々喜が出てゐる。今食品は三月廿五日六月八日暫停課にて、九十五日至六月の災害状況は一四一九十六件、被災した死者、死者、石けん六百二十五名、負傷者三用品十二人弔せられ七十五名、貴重品一茶袋、二百八十百六十名の車輦四千四百七十名、被た品のうち農作物概算一万四千七百四十名と衣料品等とは六月十七

市民から新潟地震被災者へ

救援金ぞくぞく集まる

――救済金――

被災者のために、市民から新潟地震被災者への援助金が、新潟市役所に集まり、被災者に配給されています。被災者は、新潟市の被災者を支援するために、市民からの援助金を活用しています。



節水にご協力を

[illegible]

ダム放流連絡会結成

[illegible]

十月にかけて市内の全家庭に

ての増減、取單、損耗の種類は、固定資産の課税要素であるとして調査いたしました。この調査の結果、現在の現況を確認するための調査がまいるりまからしております。

また、本荘に入つた新築した家とこの水死した家を調べます

（六、七、八月）中に、水の犠牲になつたのは三十九人いました。そのうち二十歳以下の犠牲者は二十九で、ほとんが子どもたちです。

この二十九のごともだが、故多いたため池沼に水死して溺れた者が多い。

二人が池沼などで、五人が川の他でとなつています。

また、年齢と事故場所の関係を調べてみますと、中学生は川や海の事故が多く、小さな子どもたちは池沼の水死が多いため池沼に水死して溺れた者が多い。

11歳未満が最も危険

十二、十六歳
十六、二十歳

宇治川流域にたて

二十歳以上……………十人

で、大半が十一歳未満の子どもたちです。とくに、六歳未満の子どもは、ため池や用水池などへ転落し起きた事故です。こうした事故を防ぐには、おとなが小さい

100

ことものを 水の事
 故から 守ろう
 水にのまれた39人
 昨年真節で、水のシロウと、十七人川で、五人が海で、
 (六、七、八月)中に、水の難性 二人が池や沼で、五人がのちの
 五にのつたのは十九人まへに。 他、となていま。
 のうらう十歳未満(難性者)は 他、二年間と事故場所の調
 のふらうと、ほとんがのちとち 係調べてまへに、中學生行
 こです。 川や海での事故が多、小さな
 この二十九人のもたちが、 故多いたのは、ゆめ池や月池での事故の多です。
 家でこで水死に水を調べてみます
 11歳未満が最も危険

桑

夏の健康七ヶ条

① 清潔にしましょう。
② 食卓や調理の前は心
す手を洗いましょう。
③ 食卓上には茶葉の組合
付をじょうずにしま
しょう。
④ なるべく温かい食物
は避けましょう。
⑤ 早寝、早起きの習慣を
つけましょう。
⑥ 山や海で自然に親しむながら
体をきたえましょう。

(厚生課)

宇治橋畔、中之島で
打上花火 約500発
仕掛花火 15基

火 と 水 の 祭 典

宇治川納涼花火大会へ

